

◎ 盜賊故買者ヨリ更ニ之ヲ復買シタル所爲ハ仍ホ盜賊故買罪ヲ成立ス(大審二八年判決錄四卷二一頁)

◎ 牙保トハ贓物ノ賣買抵當典物等ノ周旋ヲ爲スヲ謂フ(大審三三六年判決錄四六〇頁三三九年二〇四頁)  
◎ 竊盜ノ贓物ト雖モ善意ノ占有者カ所有權ヲ取得シタル以上ハ完全ナル處分權ヲ取得スルモノトス從テ該占有者ヨリ其物件ヲ收受シ又ハ寄藏故買スルモ贓物ニ關スル犯罪ヲ構成セス(大審三三九年判決錄二〇四頁)

第二百五十七條 直系血族、配偶者、同居ノ親族又ハ家族及ヒ此等ノ者ノ配偶者ノ間ニ於テ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免除ス  
親族又ハ家族ニ非サル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス

本條ハ近親間ノ贓物罪ニ關スル特例ヲ規定シタルモノナリ本條ノ意義ハ既ニ第二百四十四條ニ於テ述ヘタル如クニシテ同條ト對比セハ其差異モ亦一目了然タルヘキヲ以テ茲ニ再說セス

### 第四十章 毀棄及ヒ隱匿ノ罪

第二百五十八條 公務所ノ用ニ供スル文書ヲ毀棄シタル者ハ三月以上七年以下ノ懲役ニ處ス(舊刑二〇二乃至二〇五)

本條ハ公務所ノ用ニ供スル文書ノ毀棄罪ヲ規定シタルモノナリ公務所ノ意義ニ付テハ第七條ノ說明ヲ看ルヘシ用ニ供スル文書トハ公務所ノ保管スル文書ヲ總稱シ其文書ノ作成者カ一人ナルト公務員ナルト問ハサルモノトス例ヘハ一人ノ作リタル届書ノ如キ公務所ノ保管ニ屬スルトキハ本條ノ適用ヲ受クヘシ毀棄トハ文書ノ效用ノ一部又ハ全部ヲ失ハシムル行爲ヲ謂フ必シモ之ヲ破棄シタル場合ニ限ラス其文字ヲ讀ミ得サルニ至ラシメタルトキニ於テモ尙毀棄ナリ例ヘハ文字ヲ抹消スルカ如シ本條ノ文書中ニハ圖畫ヲ包含セサルコトハ文書ナル用語ノ用例ニ依ルモ明カナリ(二五五)故ニ公務所ノ用ニ供スル圖畫ヲ毀損シタルトキハ第二百六十一條ニ依リ處罰スルノ外ナシ

#### 【參照判例】

◎ 裁判所書記ノ保管スル登記申請書ノ印紙ヲ剝離シタル所爲ハ文書毀棄ナリ(大審三三八年判決錄一三五三頁)

◎官文書ヲ毀棄スルノ意思ヲ以テ之ヲ毀棄シタル以上ハ目的物ニ錯誤アルモ本罪ヲ構成ス(大審四〇年判)

◎保存期間ヲ經過シタル官文書ト雖モ之ヲ毀棄スルトキハ本罪ヲ構成ス(大審四〇年判 九八七頁)

第二百五十九條 權利義務ニ關スル他人ノ文書ヲ毀棄シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス(舊刑四二四)

本條ハ一人ノ保管スル文書ノ毀棄罪ヲ規定シタルモノナリ權利義務ニ關スル文書ノ意義ニ付テハ既ニ第五十七條第五十九條等ニ於テ説明シタル如シ斯ル文書ハ一人ノ作成シタルモノナルト公務員ノ作成シタルモノナルトヲ問ハス一人ノ保管ニ屬スルモノヲ毀棄シタルトキハ本條ノ適用アルモノトス然レトモ其文書ハ他人ノ所有ニ屬スルコトヲ要スルヲ以テ保管者カ自己ノ所有スル文書ヲ毀棄スルモ本罪ヲ構成セサルコト論ナシ尙毀棄ノ意義ニ付テハ前條ノ説明ヲ看ルヘシ

【參照判例】

◎證書毀棄罪ハ權利義務ニ關スル證書ノ所有者又ハ所持者ヲシテ其權利義務ニ關スル證據ノ全部若クハ一部ヲ失却セシムル目的ヲ以テ之ヲ毀棄シ其全部又ハ一部ヲ利用シ得サルニ至ラシメタル行爲ナリトス(大審三九年判決 錄一〇五九頁)

第二百六十條 他人ノ建物又ハ艦船ヲ損壞シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス四人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス(舊刑四一七乃至四二二)

本條ハ建造物又ハ艦船ノ損壞罪ヲ規定シタルモノナリ建造物及ヒ艦船ノ意義ニ付テハ第八條以下ニ於テ之ヲ説明シタル損壞トハ物自體ヲ破損スルコトヲ謂フモ必シモ其物ノ効用ヲ全ク滅却スルニ至リタルコトヲ要セサルナリ但之ヲ燒燬又ハ覆没シタルトキハ他ノ罪トナルヘシ(一〇八、一〇九、一二六)此他ノ點ニ付テハ前ノ説明ヲ看ルヘシ

【參照判例】

◎建造物毀壞罪ハ建造物ノ主要ナル構成部分ヲ毀壞シ完全ナル建物ノ用法ヲ缺クニ至ラシメタルトキニ於テ既遂トナル從テ必シモ建造物ノ形體ヲ滅却セシメタルコトヲ要セス(大審三五年判決 錄九卷一二四頁)

◎家屋ノ表入口ノ兩戸ハ取外シ得ルモノト否トヲ問ハス家屋ノ一部ヲ成スモノトス從テ之ヲ毀壞シタルトキハ家屋毀壞罪ナリ(大審三五年判決 錄三卷三七頁)

◎本條ニ毀壞トハ雷ニ物質的ニ器物其モノノ形體ヲ變更又ハ滅盡セシムル場合ノミナラス事實上若クハ感情上其物ヲシテ再ヒ本來ノ目的ノ用ニ供シ能ハサル状態ニ至ラシメタル場合ヲモ包含スルモノトス(大審四二年判 決錄四五二頁)

第二百六十一條 前三條ニ記載シタル以外ノ物ヲ損壞又ハ傷害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス(舊刑四一七乃至四二二三四二七ノ一六、四二九ノ一五)

本條モ亦他人ノ物ノ損壞及ヒ傷害罪ヲ規定シタルモノナリ損壞ノ意義ハ前條ニ述ヘタル如ク物自體ノ破壞ヲ謂ヒ傷害トハ動物ヲ殺傷スルコトヲ謂フナリ酒、醬油等ノ如キ液體ヲ地上ニ流失セシメ全ク其効用ヲ失ハシムルカ如キモ亦損壞ノ一例タルヘシ

第二百六十二條 自己ノ物ト雖モ差押ヲ受ケ物權ヲ負擔シ又ハ貸貸シタルモノヲ損壞又ハ傷害シタルトキハ前三條ノ例ニ依ル

本條ハ自己ノ所有物ノ損壞又ハ傷害罪ヲ規定シタルモノナリ差押ヲ受ケトハ強制執行又ハ租稅徵收ノ爲メ財産ノ差押ヲ受ケタル場合ヲ謂ヒ物權ヲ負擔シトハ民法上物權例ヘハ抵當權、質權、地上權、永小作權、地役權ヲ負擔セル物ヲ謂ヒ貸貸シトハ賃料ヲ取リテ他人ニ貸與スルモノヲ謂フナリ其他前三條ノ說明ヲ參照スヘシ

第二百六十三條 他人ノ信書ヲ隱匿シタル者ハ六月以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五十圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

本條ハ信書隱匿罪ヲ規定シタルモノナリ信書ノ意義ニ付テハ既ニ第三百三十三條ニ於テ說明セリ隱匿トハ其所在ノ發見ヲ妨クヘキ行爲ヲ總稱ス若シ他人ノ信書ヲ毀棄シタルトキハ第二百五十九條又ハ第二百六十一條ノ適用ヲ受クヘク之ヲ開披シタルトキハ第三百三十三條ノ適用ヲ受クヘキコト勿論ナリ

第二百六十四條 第二百六十九條、第二百六十一條及ヒ前條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス(舊刑四二三)

本條ハ舉示ノ各罪ニ關スル特別ノ訴追條件ヲ定メタルモノナリ親告罪ノ意義

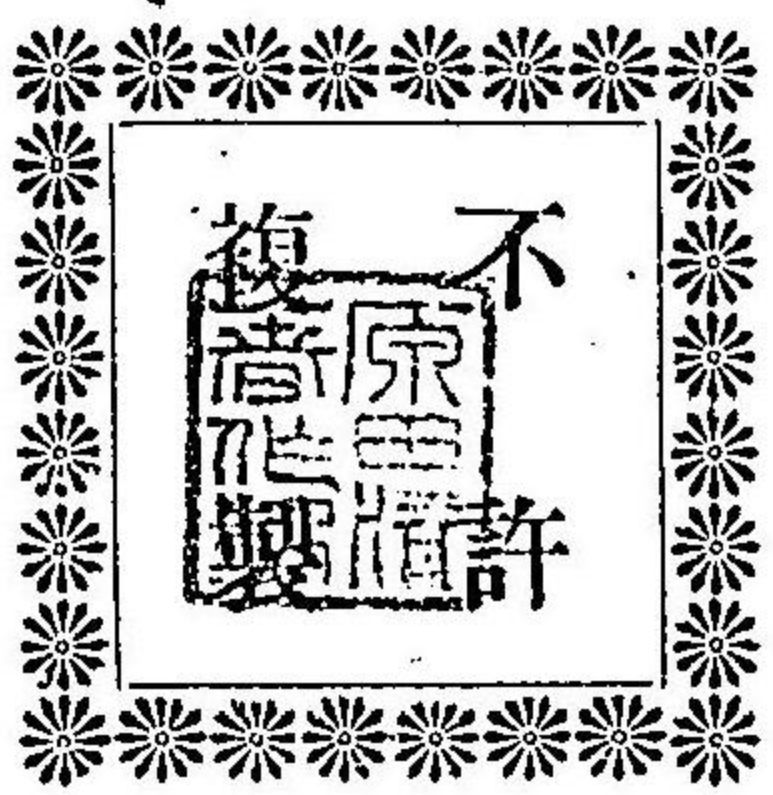
及ヒ告訴ノ方式等ニ付テハ第三百三十五條ノ説明ヲ看ルヘシ

# 刑法通解終

Handwritten notes in the right margin.

明治四十四年一月十一日印刷  
明治四十四年一月十四日發行

刑法通解  
正價金壹圓貳拾錢



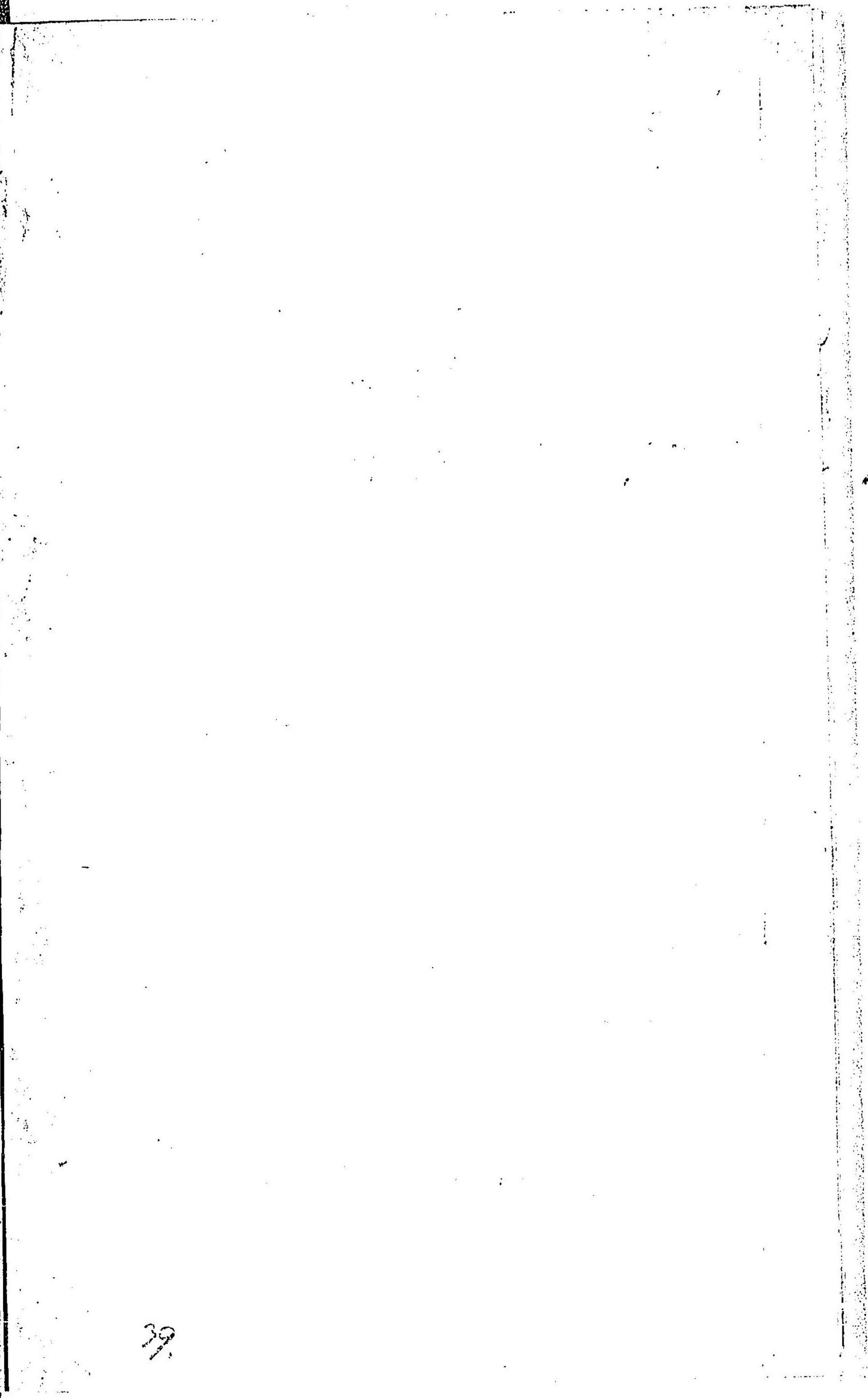
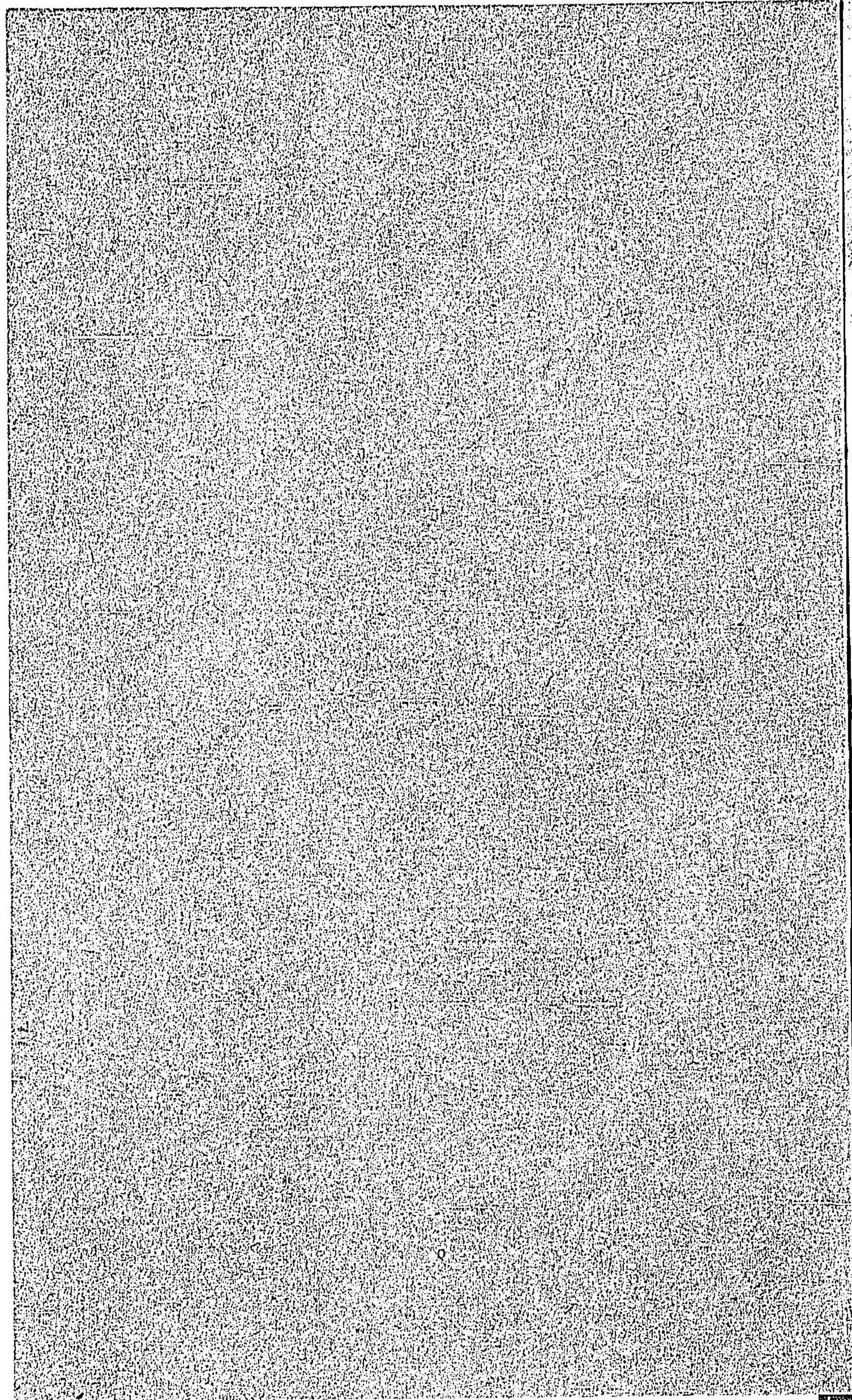
著作者	原田清
發行者	長尾清一
印刷者	飯嶋省一
發行所	法令研究会

東京市四谷區右京町二十八番地  
東京市本所區番場町四番地  
東京市四谷區右京町二十八番地

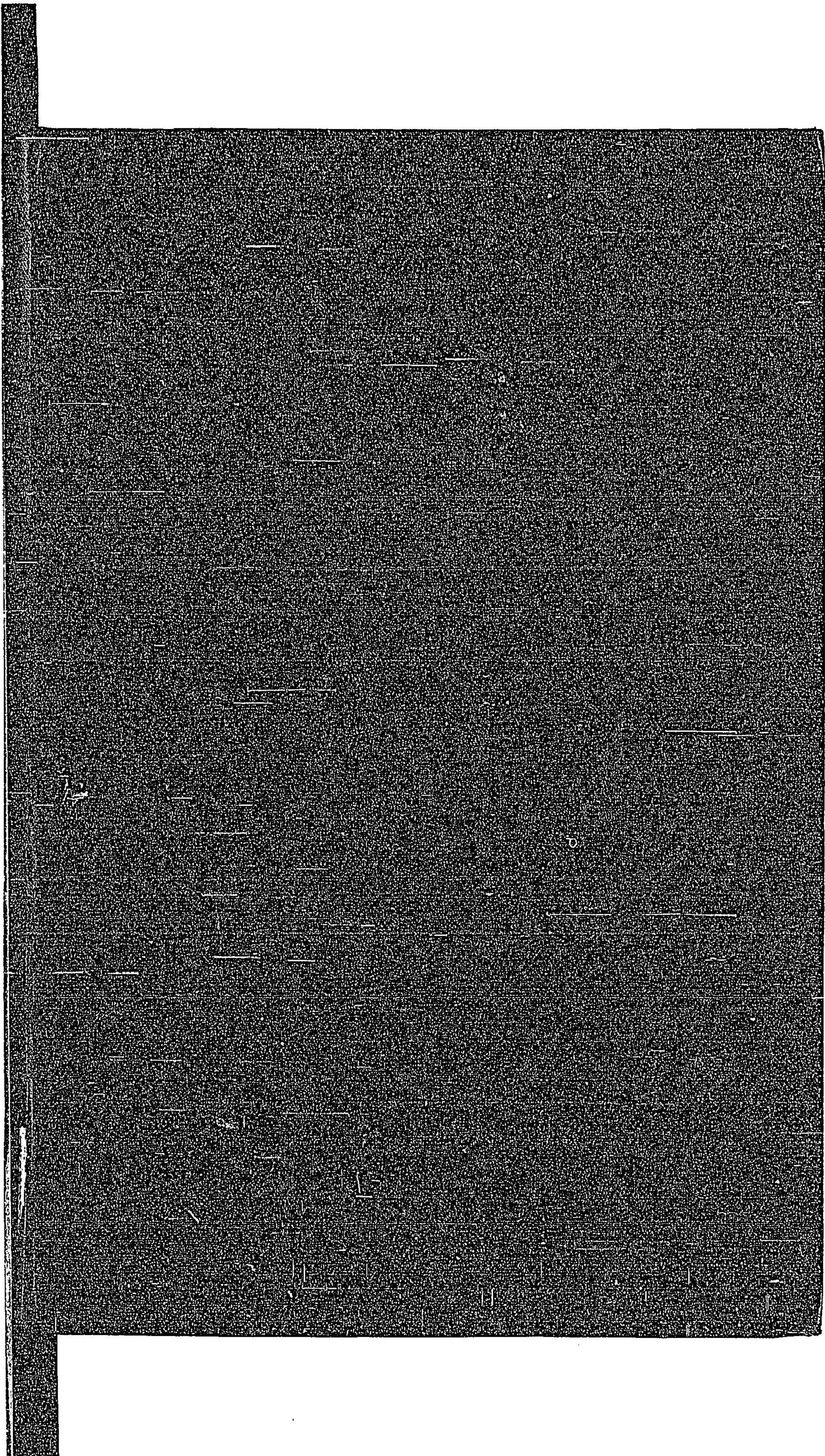
## 大賣捌所

東京市神田區  
同 同

有巖清  
斐松水  
閣堂書店



336  
12





035907-000-0

336-12

刑法通解

原田 清/著

M44

BBP-0504





